

OnAir 1500 ユーザーレポート

株式会社エフエムとうみ様

OnAir 1500-12F



放送スタジオを OnAir 1500 で更新



株式会社エフエムとうみ
放送局次長 兼 主任ディレクター
市川慶明

放送スタジオを OnAir1500 で更新

FM とうみは、放送スタジオに OnAir1500 を導入しました。今まで使用してきた音声卓が劣化し、細かな修理を施しながら使用していましたが、周辺機材の更新もあったことから併せて音声卓の更新も行うことになりました。

選定理由

FM とうみは毎日 14 時間全て自主制作放送、またそのほとんどが生放送という体系を取っております。そのため放送の心臓部のひとつである音声卓の更新には、特に現場の意見は欠かせないものでした。喋り手は、男性、女性、年齢も様々であり、さらに放送体系上、入替後にすぐに新機器にて生放送を行わなければ



ならないため、機器選定は慎重に行いました。まずは、放送機器展へ出向き、様々な機器を実際に触れて候補を挙げることにしました。その際に特にポイントにしたことは、①操作性が良いこと、②今までの卓の操作性となるべく近いもの、③周辺機器との連携についてなどでした。この辺りを含め、さらに音質の良さも兼ね備えたものが OnAir1500 でした。

更新にあたって

実際には、前音声卓からチャンネル数が僅かに減ったのですが、全く問題なく、さらに操作性の向上が図られました。幣局は東御市と防災協定を締結しており、緊急放送設備との連携も難しいポイントでしたが、最適な方法をご提案いただき、更新することが出来ました。

入替前には、実際に局内にデモ機を設置していただき、各パーソナリティがいつでも触れることが出来るように仮スタジオも組んでいただきました。スチューダースタッフの方の丁寧な指導のもと、短時間で基本操作を身に付けていくパーソナリティを見て、運用後の心配が無くなりました。見た目もスタイリッシュでカッコイイとの意見も出ました。

4ヶ月運用して

運用開始してから4カ月が経ちますが、操作性について問題なく、機器の不具合も皆無です。何かあった際のフォローもすぐに対応OKですとの言葉がより信頼性を高めています。そして、実際に操作しているパーソナリティから好評を得ています。

最後に

最後に導入にあたって、ヒビノ様、スチューダー・ジャパンブロードキャスト様、上田日本無線様には、私達の放送体系に合わせた様々なわがままがあつたにも関わらず、最適なシステムを組んでいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

